

日本ロールシャッハ学会第 18 回大会を佛教大学で開催させていただくことになりました。これまでの大会のテーマを概観してもコラボレーションというキーワードが取りあげられたことはありませんでした。コラボレーションは、臨床心理士が他職種の専門家として協力して専門性を発揮するためには必要不可欠なワードと言えるでしょう。ロールシャッハ法と他技法とのコラボレーションや組み合わせということであれば、従来よりクライアントを総合的に理解するために知能発達検査や質問紙法とテストバッテリーを組むという考えが心理臨床の現場では重要とされてきています。しかし、筆者が考えている“ロールシャッハ法とのコラボレーション”とは、テストバッテリーの発想とは若干異なる方向性を考えています。

バッテリーという考え方は、クライアント理解のためにそして、援助的な介入のために次元の異なる技法を用いて、クライアントの諸側面を多角的な視点からアセスメントするという、どちらかというアセッサー（セラピスト）中心の考え方であるように思うのです。それに対して、コラボレーション（協働）では、“専門家同士のコラボ”というように、クライアントに対してプラスになるようにという点では共通していますが、クライアントとセラピスト（アセッサー）の信頼関係を基にして、より援助的な関係性を発見的に紡ぎだすという方向性が尊重されます。このようなセラピストとクライアントの双方向的な視点を技法間においても検討できないだろうかと考えてみたのです。すなわち、セラピスト（アセッサー）が専門性をより発揮できる投映法の組み合わせを、クライアントと共に独自に創造していくことができれば、真のコラボレーションということになるのかもしれない。

そこで、今大会のテーマは、「ロールシャッハ法とのコラボレーション」といたしました。シンポジウムでは、描画法とロールシャッハ法の両方を究めておられる高橋依子先生に「描画法とロールシャッハ」、高瀬由嗣先生に「TATとロールシャッハ」、そしてコレボレイティブ・アセスメントに端を発する「治療的アセスメント」に関して橋本忠行先生、さらには「箱庭とロールシャッハ」に関しては川原稔久先生、そして指定討論には氏原寛先生をお願いして議論を深めて頂ければと期待しています。さらに、ワークショップでは、「ロールシャッハとSCT」「病院臨床のアセスメント」「発達障害児の支援とアセスメント」「解離性障害の支援とアセスメント」などさまざまな視点からのワークショップをご用意いたしました。そして、特別講演者として本学会の名誉会員となられた齋藤久美子先生にご登壇頂けることになりました。そして、教育講演者には「ロールシャッハ法と家族関係理解」と題して、高橋靖恵先生をお願いいたしましたのでご期待くださいますようお願いいたします。

学会のアカデミックな雰囲気にはたまった後は、秋の京都を満喫していただければ幸いです。紅葉シーズン真っ只中の大会開催となりますのでお早めに宿の方は予約頂きまして、是非とも、たくさんの研究者・臨床家のご参加を心よりお待ちしております。

2014 年 5 月

日本ロールシャッハ学会第 18 回大会

準備委員長 松瀬喜治（佛教大学）

※このご案内に同封されているもの

- 1) 日本ロールシャッハ学会第 18 回大会第 1 号通信
- 2) 大会・ワークショップ参加申込書（往復はがき）
- 3) 払込取扱書（ゆうちょ銀行）
- 4) 研究発表・ワークショップ事例提出申込書

I. 会期 2014 年 11 月 29 日（土）～11 月 30 日（日）

II. 会場 佛教大学・紫野キャンパス 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 9 6

### Ⅲ. 行事 教育講演・特別講演・シンポジウム・ワークショップ・研究発表・理事会・総会・懇親会

#### Ⅳ. 大会スケジュール (予定)

##### 第1日目 11月 29日 (土)

9:30～ 10:00	10:00～11:00	11:05～12:15	12:15～ 13:30	13:30～ 14:30	14:45～ 17:45	18:00～ 20:00
受付	教育講演	特別講演	昼休み	総会	シンポジウム	懇親会
			理事会			

##### 第2日目 11月 30日 (日)

9:00～9:45	9:45～ 12:45	12:45～ 13:50	13:50～ 15:20	15:30～ 17:00
受付	ワークショップ	昼休み	一般研究発表 ①	事例研究発表 ①
			一般研究発表 ②	事例研究発表 ②

#### Ⅴ. 研究発表 (一般研究・事例研究)

1. 発表時間は 30 分 (一般研究) と 90 分 (事例研究) の 2 種類です。発表時間は希望通りにならない場合もあります。
2. 口頭発表者・連名発表者ともに、本学会会員であることが発表者要件となります。未入会の方は、日本ロールシャッハ学会事務局 (本案内XVIIに記載) へ連絡し、入会手続きを行ってください。なお、入会承認には、申込から 1 ヶ月程度かかりますので、あらかじめご承知おきください。
3. 発表機材として、プロジェクタとスクリーンを準備いたします。パワーポイントのファイルをご使用の場合、ノートパソコン (標準的なプロジェクタ用接続ケーブル入出力端子のあるもの) を各自ご持参ください。他の機材利用をご希望の方は、大会事務局までお問い合わせください。
4. 発表、抄録記載要領等については、適宜、口頭発表者にご連絡いたします。

#### Ⅵ. 教育講演

「ロールシャッハ法と家族関係理解」

講師：高橋靖恵 (京都大学大学院)

司会：森田美弥子 (名古屋大学大学院)

#### Ⅶ. 特別講演

「私のロールシャッハ法 (予定)」

講師：齋藤久美子 (甲子園大学)

司会：松瀬喜治 (佛教大学)

#### Ⅷ. シンポジウム

「ロールシャッハ法とのコラボレーション」

話題提供者：高橋依子 (大阪樟蔭女子大学)：描画法とロールシャッハ

高瀬由嗣 (明治大学)：T A T とロールシャッハ

橋本忠行 (札幌学院大学)：治療的アセスメント

川原稔久 (大阪府立大学)：箱庭とロールシャッハ

指定討論者：氏原寛 (帝塚山学院大学) 司会：松瀬喜治 (佛教大学)

## IX. ワークショップ

以下の講師陣と内容でワークショップを開催いたします。コースによっては事例提供者を募っております。皆様のご参加ならびに事例提供をおまちしています。なお、ワークショップ料金は大会参加費の中に含まれています。

### 1. **ロールシャッハ法とSCT —精神力動的視点から—**

講師：深津千賀子（国際医療福祉大学大学院・千駄ヶ谷心理センター）

内容：ロールシャッハ法とSCTのバッテリーは病態水準、パーソナリティ特徴の把握、心理療法への適用などを検討する際に非常に有効です。ここでは精神力動的な考え方の基本を共有した後に、事例を通して、ロールシャッハ法の継起分析や検査者—被検者にみる対象関係についての理解、SCTに記述される意識的な自己像や対人関係など、それぞれの検査からの情報を統合し、臨床像とつなげる過程を通して、精神力動的理解を深めたいと思います。事例提供を希望する方、1名を募集します。

### 2. **病院臨床におけるロールシャッハ法を中心とした心理アセスメント**

講師：沼初枝（立正大学心理学部）

内容：医療分野の臨床心理士は、国家資格がないにもかかわらず、その有用性や心理士自身の研鑽により、心理的援助やアセスメントの担い手として幅広く活動しています。そうした臨床心理士の実践に役立つような心理アセスメントを、以下の内容で進めていきます。前半：平成26年度に新しく加えられた心理検査も含め、医科診療報酬における臨床心理・神経心理検査の基本を学び、後半：診断や援助の難しいと思われる患者さんの心理的アセスメントについて、ロールシャッハ法を中心としたテストバッテリーから、受講者みんなで読み解いていきたいと思います。

### 3. **発達障害児の支援とアセスメント**

講師：明翫光宜（中京大学心理学部）

内容：発達障害、特に自閉症スペクトラム障害の心理アセスメントが重要な領域になってきています。障害特性を捉えるアセスメントツールは、しばらくは海外のみで使用されていましたが、現在多くのものが使えるようになってきています。講義の前半は発達障害の認知特性とアセスメントツールの概要について取り上げ、後半は発達障害臨床にロールシャッハ法を取り入れるための視点を取り上げたいと思います。後半についてはロールシャッハ法について事例提供を募ります。

### 4. **解離性障害の支援とアセスメント**

講師：青木佐奈枝（筑波大学）

内容：解離と心的外傷は切っても切れない強い関係を持つと言われていています。本ワークショップでは、解離性障害（および、心的外傷性障害）を有する方の支援とアセスメントについて取り上げます。前半は解離性障害（および、心的外傷性障害）について概説した上で、その支援やアセスメント法に触れ、後半は事例を用いて、アセスメントを支援にどう使っていくかについて、一緒に検討していきたいと思います。ロールシャッハ・テストを含む継続面接事例を募集します。

### 5. **『『ロールシャッハ法研究』に論文を投稿しよう（仮）』**

講師：石橋正浩（大阪教育大学）、小川俊樹（放送大学）、加藤志ほ子（南青山心理相談室）、  
津川律子（日本大学）、橋本朋広（大阪府立大学）

内容：本学会機関誌『ロールシャッハ法研究』ではロールシャッハ法を中心とする投影（映）法に関する研究論文の投稿を随時募集しています。しかしここ数年、投稿論文の件数は減少の傾向にあります。そこで常任編集委員会では、論文の作成における基本的な注意事項や投影（映）法による研究を進める上でのヒントについて、理解を深めるためのワークショップを企画しました。常任編集委員による講義に加え、現場での経験を論文にまとめたいとお考えになっている方々と論文作成のアイデアや倫理問題などについてディスカッションしたいと考えています。

## X. 懇親会

日時：11月29日（土） 18：00～20：00

場所：佛教大学1号館 地下1階カフェテリア

※皆様のご参加を心よりお待ちしております。なお、会場設営の関係上ご予約をお願いします。

### X I. 大会参加の申込要領

1. 同封の参加申込書（往復はがき）に必要事項をご記入のうえ、切手を往信用・返信用の2ヶ所に貼って投函してください（2014年9月30日（火）必着）。
2. 同封の払込取扱票通信欄の該当する金額に印を付け、合計金額と必要事項をご記入のうえでお振り込みください（払込期限 2014年9月30日（火））。期日までにお振り込みがない場合は、当日参加費を受付にてお支払いいただきます。なお、いったん納入された参加費は返金いたしません。
3. 第1日目（11月29日）・第2日目（11月30日）のお弁当の予約は、払込取扱票通信欄のお弁当の予約に印を付けて払込取扱票にて振込みをお願いします。お弁当代は、1食1,000円です。なお、11月29日（土）の昼食時は、学生食堂・カフェテリア（1号館・5号館・鷹陵館・鹿溪館）が利用できます。11月30日（日）の昼食時も、1号館のカフェテリアが利用可能です。
4. 研究発表・ワークショップでの事例提出をご希望の方は同封した研究発表・ワークショップ事例提出申込書に必要事項をご記入のうえ、第18回大会事務局（XIV）宛にFaxまたはEメールにて送信してください（2014年7月14日（月）必着）。もし郵送される場合は封筒および切手を各自ご用意ください。
5. 臨時会員（一般）は、原則として保健・医療・福祉・教育等の領域で心理臨床などの実務経験を持つ方とさせていただきます。院生・学生の非会員の方はこの限りではありませんが、守秘義務の責任を負うことが条件です。なお、院生・学生の方は、当日に学生証をご提示いただきます。

### X II. 大会参加費

大会参加費		予約	当日
大会参加費	本学会会員	7,000	8,000
	臨時会員（一般）	9,000	10,000
	院生・学生	5,000	6,000
懇親会費	本学会会員	5,000	5,500
	臨時会員（一般）	5,000	5,500
	院生・学生	4,500	5,000

※本案内に同封してある払込取扱票でお振込みください。ゆうちょ銀行に備え付けの用紙を使用するときは、払込金額の明細、所属を必ずお書きください。

### X III. 今後のご連絡

1. 発表申込期限（研究発表、ワークショップ事例提供）・・・・・・・・・・2014年7月14日（月）必着
2. 発表申込者への抄録作成要領の送付・・・・・・・・・・2014年7月下旬
3. 抄録原稿の提出期限・・・・・・・・・・2014年8月25日（月）必着
4. 事前申込・諸費用の払い込み期限・・・・・・・・・・2014年9月30日（火）
5. プログラム・抄録集の発送・・・・・・・・・・2014年10月下旬

#### XIV. 第 18 回大会事務局の連絡先

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 9 6

佛教大学臨床心理相談室内 日本ロールシャッハ学会第 18 回大会事務局

FAX 075-493-9099 E-mail : jsrpm18@bukkyo-u.ac.jp

郵便振替口座名 日本ロールシャッハ学会第 18 回大会

郵便振替口座番号 00920-2-305969

#### XV. 理事会

11 月 29 日 (土) 12:15~13:30 理事の先生方へ:会場、その他は学会事務局よりご連絡いたします。

#### XVI. 交通アクセス

会場(佛教大学紫野キャンパス)へは以下の交通機関が利用できます。

1. JR 京都駅から:京都市営地下鉄烏丸線で国際会館方面行きに乗車し「北大路駅」で下車(約 13 分)。  
北大路駅から市バスで「佛教大学前」か「千本北大路」で下車(約 10 分)。
2. 阪急電車大宮駅から:市バスで「千本北大路」下車(約 20 分)。
3. JR・地下鉄二条駅からのアクセス:市バスで「佛教大学前」か「千本北大路」下車(約 15 分)。
4. JR 円町駅からのアクセス:市バスで「千本北大路」下車(約 15 分)。
5. 京阪電車出町柳駅からのアクセス:市バスで「佛教大学前」か「千本北大路」下車(約 20 分)。

※市バス「千本北大路」から佛教大学までは徒歩約 3 分。佛教大学ホームページの紫野キャンパス・アクセスをご参照ください。(http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/access/murasakino/)

#### XVII. 学会事務局(入会・住所変更・学会費納入などに関する連絡先)

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学総合情報メディアセンター伊藤研究室 日本ロールシャッハ学会事務局

E-mail:jimukyoku@jsrpm.jp 学会ホームページ: http://jsrpm.jp/

※第 18 回大会の事務局ではありませんので、ご注意ください。

※入会承認には、申込から 1 ヶ月程度かかります。